

# 交流だより

令和3年 3月 3日  
大阪府立東淀川支援学校  
交流及び共同学習推進委員会

今年度の交流及び共同学習の様子をお伝えします。

## <淡路中学校吹奏楽部と本校小学部高学年、中学部1年生との交流会>

昨年の10月16日の5, 6限に本校アリーナに淡路中学校吹奏楽部の生徒を招いてコンサートを行いました。今年度はコロナウイルス感染防止対策で、舞台と観客席の間にビニールシートを用意して演奏を行いました。児童生徒は迫力のある生演奏に大変感動し、指揮者体験やダンスコーナーなどもあり大変楽しい交流会となりました。



## <東淀川ドコドコドン (中止) >

昨年の11月21日に本校アリーナに東淀川区で「東淀川ドコドコドン」が予定されていましたが、それに向けて本校中学部C班はビデオで参加しようと、今年度も音楽の授業で「友心」を練習していましたが、中止となりました。残念ですがまた来年に期待したいです。

## —学校間における交流及び共同学習—

### <中島中学校9年生との交流及び共同学習(中学部)>

今年度は12月7日に本校中学部生徒と中島中学校の9年生の生徒と一緒にお互いの学校でリモートによる交流会を予定しておりましたが、当日本校が休業になったためリモートによる交流会はできませんでした。しかし、その後中島中学校の9年生の皆さんから、心温まるメッセージをいただき、それを玄関に掲示しています。今年度は直接会えなかったけど来年度は会えたらいいね、とみんな楽しみにしています。



### <作品交流>

2月18・19日に本校で行われた作品展に啓発小学校、西淡路小学校、中島中学校、淡路中学校、柴島高等学校の5校の児童・生徒の作品を展示し、作品交流を行いました。



## —居住地校交流—

本校では、子どもたちが自分の住んでいる地域で人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをめざし、居住地校の同世代の子どもたちと活動を共にし、交流を深める居住地校交流を行いました。

小学部では12名、中学部では8名の児童生徒がそれぞれの居住地で交流を行うことができました。今年はコロナウイルスの関係で直接会わずお互いの作品を送りあって1つの作品を作ってそれをお互いの学校で鑑賞しあうというような工夫をして、居住地校交流を進めた学校もありました。

また、回数を重ねることで、いろいろな活動での交流を行うことができるようになってきました。来年度もより充実した居住地校交流に取り組んでいきたいと思っています。



## —地域の方々との交流—

今年度も夏季休業中の土曜日と日曜日や、4連休などに、近隣の方々がボランティアで、本校の児童生徒が育てている農作物や植物に水やりをしてくださいました。

また、感謝の気持ちを児童生徒が作品にし、玄関に掲示しました。



## 最後に…

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の予防の観点で、交流および共同学習も中止になってしまったり、例年とは形を変えざるをえないことがたくさんありました。しかしこのような状況の中でも、感染防止の工夫をしたうえで、行うことができた学校間交流もあり、会わなくてもお互いを感じることができるように工夫をした居住地校交流など、本校ではできるだけ交流および共同学習に取り組むことができました。今後もいろいろな場面で、共生社会の形成につながるよう、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちがお互いを認め合いながら、ふれあい、活動することを目標とした豊かな実りある交流及び共同学習を目指していきたいと思っています。

